

強きもの

2012年5月21日

節くれだった巖のような父の手

「こんなもんしかないけど」と言って差し出す母の夕食

1960年代 鳥取の農村

父母は農業を黙々と営み

父は 冬 関西へ出稼ぎ 収入の不足を補う

母は 愚痴も言わず 家事を担う

器用な生き方はできない

ただひたすら

家族のため 子どもため

家族 子どもの心に

父母の実直さが ひびく

強きもの

それは 愛